

# 岩崎 洸 & 岩崎 淑

Ko & Shuku Iwasaki



## ベートーヴェン チェロ・ソナタ全曲演奏会

Beethoven  
Complete Cello Sonatas Recital

ベートーヴェン  
Beethoven

ピアノとチェロのためのソナタ 第1番 ヘ長調 作品5-1  
Sonata for Piano and Cello No.1 in F Major, Op.5, No.1

ピアノとチェロのためのソナタ 第3番 イ長調 作品69  
Sonata for Piano and Cello No.3 in A Major, Op.69

ピアノとチェロのためのソナタ 第2番 ト短調 作品5-2  
Sonata for Piano and Cello No.2 in G Minor, Op.5, No.2

ピアノとチェロのためのソナタ 第4番 ハ長調 作品102-1  
Sonata for Piano and Cello No.4 in C Major, Op.102, No.1

ピアノとチェロのためのソナタ 第5番 ニ長調 作品102-2  
Sonata for Piano and Cello No.5 in D Major, Op.102, No.2



岩崎 洸(Vc)



岩崎 淑(P)

2015.3.27 (金) 開演18:30(開場18:00)



浜離宮朝日ホール

(都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ)

◎入場料金：A席 ¥5,000 / B席 ¥3,000 (全席指定・税込)

◎お問合せ・電話予約 カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560 <http://www.camerata.co.jp>

◎チケットお取扱い チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード:248-731) / e+(イープラス) <http://eplus.jp>

主催:カメラータ・トウキョウ 協力:プロアルテムジケ



## 何故 ベートーヴェン？

プロとして演奏を始めて約半世紀が経ち、この節目に自分が本当に弾いてみたいものでプログラム構成をしようと思ったとき、迷うことなく、ベートーヴェンソナタ全曲演奏と決めた。

若い頃、ベートーヴェンはバッハ、モーツァルト、ブラームス等、指折りの偉大な作曲家のひとりとして意識はしていた。実際、デビューして間もない頃、ソナタ5曲と変奏曲をレコーディングしたが、その時はプロジェクトの達成という目的が先にあった為、多分音楽を深く考えるまで行っていなかったのではないだろうか。

それが、歳を重ね、多数のベートーヴェンの楽曲を演奏したり指導しているうちに、楽譜に書かれてある以上の何かがあることに気がつ

いてきた。特に後期の弦楽四重奏曲をジャパン・ストリング・カルテットの仲間と、追求し続けていることは大きなプラスである。他の作曲家には見つけられない哲学、精神の深さ、神への祈りなどがだんだんと見え始めてきたのである。

ベートーヴェンの作品は、何度も弾くごとに新発見があり、曲の奥深さに魅了させられる。彼の音楽には強い主張だけではなく、どこか無限の世界観があるように感じる。

この度のリサイタルでは、自分が今理解するベートーヴェンの音楽を聴衆の皆さんと分かち合いたいと思っている。

岩崎 洸

### 岩崎 洸 (チェロ)

Ko Iwasaki, violoncello

1960年、日本音楽コンクール第1位、特賞。桐朋学園高校を経て、ジュリアード音楽院に留学。齋藤秀雄、レナード・ローズ、ハーヴィー・シャピロ、パブロ・カザルスの各氏に師事。1965年ヤング・コンサート・アーティスト・シリーズによりニューヨーク、カーネギーリサイタルホールでデビュー。その後、ウィーン、ミュンヘン、ブダペスト、カサド、チャイコフスキー等の国際チェロ・コンクールに上位入賞。

翌年、アンドレ・プレヴィンに認められ、ロンドン交響楽団と共演、ヨーロッパ・デビューを果たす。1971年芸術選奨文部大臣新人賞、及び現代日本チェロ名曲体系により芸術祭レコード大賞を受賞。

1974年よりアメリカのイリノイ州立大学で教鞭をとる傍ら、アメリカ、ヨーロッパ、旧ソヴィエト各地でソロ及び室内楽の分野で活躍。また、マールボロ、アスペン、ロッケンハウス、クフモをはじめとして、各国のフェスティバルに参加。日本国内では、東京チェンバー・ソロイストの主宰、及び沖縄ムービー・ミュージックキャンプ&フェスティバルの企画開催等により室内楽に旋風を吹き込む。

1990年、1994年カサド、並びにチャイコフスキー各国際コンクールの審査員を務める。1996年、1998年にはチェロ・アンサンブル・サイトウのメンバーとして、またソリストとして各国のチェロ・コンGRESに参加。1995年からジャパン・ストリング・クワルテットを結成し、ベートーヴェン弦楽四重奏曲の全曲演奏を行う。2008年にカメラータ・レーベルより無伴奏チェロ作品集をリリース、2009年は現代日本チェロ名曲体系がタワーレコードより復刻発売された。

現在、桐朋学園大学特任教授、大阪音楽大学客員教授。アメリカに本拠を置きながら世界各地で演奏を続けている。



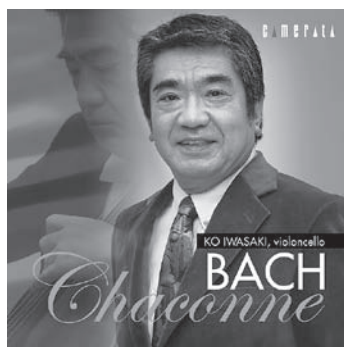
### 岩崎 淑 (ピアノ)

Shuku Iwasaki, piano

倉敷市出身。桐朋学園大学、ハートフォード大学、ジュリアード音楽院、キジアーナ音楽院で、井口秋子、井口基成、J.ラタイナ、A.ベネデッティ・ミケランジェリ、S.ロレンツィ、I.フロインドリッヒの各氏に師事。1967年ミュンヘン国際音楽コンクール二重奏部門第3位。68年ブダペスト、70年チャイコフスキー国際音楽コンクールで最優秀伴奏者賞受賞。以来、J.シュタルケル、P.トルトゥリエ、P.L.グラーフ、I.パールマン、A.ナヴァラ、I.ギトリス、U.ウーギ、M.マイスキー、M.ジャンドラなど著名音楽家と共演、録音多数。76年より「岩崎淑ミュージック・イン・スタイル」主宰。89年芸術祭賞を受賞。79年より18年間「沖縄ムービー・ミュージック・キャンプ&フェスティバル」、97年より「沖縄国際音楽祭」を弟の岩崎洸と企画開催。20年間に渡りシエナのキジアーナ音楽院でR.ブレンゴラ教授と室内楽クラスを担当。イタリアのグッピオ、ローヴェレ、フランスのクールシュベールなどでマスタークラスを担当。

現在、演奏活動のほか、イタリア・カントウ国際音楽コンクール審査員、第1回～第3回高松国際ピアノコンクール審査員長。2008年まで桐朋学園大学大学院教授ほか、これまでに尚美学園大学大学院客員教授、武庫川女子大学、くらしき作陽大学客員教授を務めた。倉敷市文化振興財団アドバイザー。室内楽グループ「カロローザ」主宰。国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会会長。著書に『アンサンブルのよろこび』『ピアニストの毎日の基礎練習帳』（以上春秋社）、『音楽さえあれば』（岩崎洸共著/吉備人出版）。

2005年福武文化賞、99年ノルウェー王国功労勲章叙勲。2014年1月第24回新日鉄住金音楽賞特別賞、同年2月第26回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門特別賞受賞。



鳴り響くストラディヴァリ  
岩崎洸渾身の演奏が冴え渡る

## J.S. バッハ：シャコンヌ —無伴奏チェロ作品集—

- J.S. バッハ：シャコンヌ  
(無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 ニ短調 BWV 1004 より)  
[編曲: 岩崎 洸]
- コダーイ：チェロ独奏のためのソナタ 作品8
- 黛 敏郎：文楽—チェロ独奏のための

岩崎 洸 (チェロ=ストラディヴァリ)

[CD] CMCD-28134 ¥2,800(+税)

録音: 2007年10月 / 栃木 他

### ハイドン：チェロ協奏曲集

- チェロ協奏曲 第2番 ニ長調 Hob.VIIb-2 作品101
- チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob.VIIb-1

岩崎 洸 (チェロ)  
フォルカー・シュミット=ゲルテンバッハ (指揮)  
ポーランド室内管弦楽団  
[CD] CMCD-15078 ¥1,500(+税)

### ブラームス：チェロ・ソナタ集

- チェロ・ソナタ ニ長調「雨の歌」作品78  
(編曲: ユリウス・クレンゲル)  
[原曲: ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 作品78]
- チェロ・ソナタ 第2番 ハ長調 作品99

岩崎 洸 (チェロ) / アントニー・シビリ (ピアノ)  
[CD] CMCD-15077 ¥1,500(+税)

### ベートーヴェン：「街の歌」

- ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 作品11「街の歌」
- ピアノ三重奏曲 変ホ長調 作品38  
[原曲: 七重奏曲 作品20]

アントニー・シビリ (ピアノ)  
ベーター・シュミードル (クラリネット) / 岩崎 洸 (チェロ)  
[CD] CMCD-20025 ¥2,000(+税)



camerata

●発売元: カメラータトウキョウ

www.camerata.co.jp www.facebook.com/cameratatokyo